



免疫のお話『予防接種』編

インフルエンザワクチンの接種時期

Y : インフルエンザウイルスに感染するのを予防するための免疫(抗体といいます)

インフルエンザワクチンを接種する時期は **11月中頃がおすすめ**です

ワクチンを接種

抗体が存在しない状態
(11月中頃)

抗体が十分に存在しない状態
(5月初め頃～)

抗体が作られている状態
(11月中頃～12月初め頃)

予防が期待できる

抗体が十分に存在する状態
(12月初め頃～5月初め頃)

予防(免疫)が期待できるのは
接種後約5ヵ月までのため、
ワクチンは毎年接種する
必要があります

抗体ができるまで
2～3週間かかります

インフルエンザワクチンを毎年接種するのには、2つの理由があります。

- 1つ目…ワクチンの効果が長く続かないから
- 2つ目…ウイルスが毎年変化するから

ワクチンの効果は、**接種後約5ヵ月まで**です。

ワクチンは、**毎年11月中頃に接種することがおすすめ**です。

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 一出張相談会 保健室に学校薬剤師が来ます 》
ドラッグレターの内容、医薬品や健康、薬物乱用など
について、相談・聞きたいことがある人は保健室まで！
11月18日 16時30分～17時30分

作成・発行元 北陸大学薬学部
准教授 大柳賀津夫(学校薬剤師)
講師 岡本晃典(薬剤師)
6年生 村中佑晟・木山美佳

